

-治水と災害の歴史に学ぶ-

参加費無料
(資料希望の方は490円)

水害写真:荒川上流河
川事務所HPより引用

平成30年 **6月2日(土)** 開場 12:00
13:00~17:10

場所: **さいたま市民会館おおみや小ホール**
さいたま市大宮区下町3丁目47番地8

定員: 250名

主催: 一般社団法人日本応用地質学会 環境地質研究部会

後援: 埼玉県

一般社団法人関東地質調査業協会

一般社団法人建設コンサルタンツ協会関東支部

特定非営利活動法人 全国水環境交流会

プログラム

12:00 開場 質問票、アンケート用紙、相談票を配布します

13:00 開会

あいさつ: 日本応用地質学会環境地質研究部会 稲垣秀輝部会長(主催者代表)

13:05 **第1部 基調講演** 60分×2題

■基調講演1: 「利根川東遷と埼玉の誕生」

(日本水フォーラム代表理事 竹村公太郎氏)

■基調講演2: 「荒川中下流域における潜在的氾濫リスクは近代改修によりどう変化したか」

(埼玉大学理工学研究科 教授 田中規夫氏)

15:05 休憩(10分)

15:15 **第2部 話題提供** 25分×2題、20分×1題

■話題提供1: 「首都圏の地盤と変動、地震の揺れやすさ」

(防災科学技術研究所社会防災システム研究部門 主幹研究員 木村克己氏)

■話題提供2: 「埼玉の平野の地盤を画する見沼代用水とその魅力」

(応用地質株式会社 社友 上野将司氏)

■話題提供3: 「大深度地下の利用—地下河川等—」

(日本応用地質学会環境地質研究部会 塩崎功氏)

16:25 休憩(15分)

16:40 **第3部 パネルディスカッション**

【テーマ】 埼玉の災害リスク・防災と地質の恵み

【コーディネーター】 日本応用地質学会環境地質研究部会 稲垣秀輝部会長

【パネリスト】 竹村公太郎氏 田中規夫氏 木村克己氏 上野将司氏 塩崎功氏

17:10 閉会

あいさつ: 関東地質調査業協会理事 渡辺寛氏(後援者代表)

必要な方にはCPD
エビデンスを差し上げます

17:15~17:45 **市民相談コーナー**

- ・埼玉県の地形地質、地盤災害、防災等に関する相談コーナーを設けます。
- ・日本応用地質学会環境地質研究部会各委員が適宜アドバイス等致します。

フォーラム趣旨

私達が生活する埼玉県は、“県土に占める河川の面積割合※1”と“川幅※2”の川にまつわる日本一を二つ有しています。現在、埼玉県では、川が持つポテンシャルを活用した「川の国埼玉」の実現に向けて、親水空間の創出等様々な取組が行われています。一方、利根川と荒川の二大河川、そして数多くの支川が流下する埼玉県では、頻発する水害と先人による治水事業との相克の歴史が紡がれてきました。今回のフォーラムでは、利根川東遷をはじめとした治水事業と水害の歴史を学ぶとともに、今後住民が直面する水害のリスクと備えを考えることを目的として開催します。あわせて、埼玉の地形・地質や風土をあらためて理解するために、地質にゆかりのある話題を共有したいと思います。みなさま、ぜひご参加いただき、防災意識を新たにするとともに、恵みもたらす地元の地形や地質に触れましょう。

※1 県土に占める河川の面積割合:3.9% ※2 川幅:鴻巣市と吉見町境界での荒川の川幅 2,537m

日本応用地質学会 環境地質研究部会
 市民フォーラム in 埼玉 事務局((株)日さく 東日本支社内)
 担当 堀 信雄
 Tel 048-644-2101
 Fax 048-644-2407
 E-mail 2018f@nissaku.co.jp



会場アクセス

- 【大宮駅をご利用の場合】
 JR線・東武線他 大宮駅東口より徒歩 15 分
- 【大宮駅東口からバスをご利用の場合】
 3 番乗場 東武バス 天沼循環
 「吉敷一丁目」下車 徒歩 5 分
- 【さいたま新都心駅をご利用の場合】
 JR線 さいたま新都心駅東口より徒歩 17 分

参加申し込み

下記参加申込書に、氏名などをご記入の上、e-mail もしくは Fax にてお申し込み下さい。当日も参加申し込みを受け付けておりますが、ご用意できる資料の部数に限りがありますので、お早めの申し込みをおすすめします。

申込締切:平成 30 年 5 月 29 日(火)

----- Fax の場合、切り取らず、この面を Fax 下さい -----

日本応用地質学会環境地質研究部会 市民フォーラム 2018 in 埼玉【平成 30 年 6 月 2 日(土)】

参加申込書

Fax 048-644-2407 / E-mail 2018f@nissaku.co.jp (堀 宛)

ふりがな お名前	ご所属	連絡先 (TEL もしくは E-mail)	区分	資料 要否	CPD エ ビデ ンス 要否
			一般市民 応用地質学会会員 その他関係分野技術者	要/否	要/否
			一般市民 応用地質学会会員 その他関係分野技術者	要/否	要/否
			一般市民 応用地質学会会員 その他関係分野技術者	要/否	要/否
			一般市民 応用地質学会会員 その他関係分野技術者	要/否	要/否

※区分、資料要否、CPD エビデンス要否：該当するものを囲んで下さい。